



## ご来賓挨拶 〈要約〉



### 両総用水事業推進協議会 会長 志賀 直温 様

両総用水事業推進協議会は、国営事業の事業認可に向けて昭和59年6月14日に両総地区農業基盤整備事業推進協議会と言う名称で発足し、平成4年度に現在の両総用水事業推進協議会と名称変更いたしました。現在に至っております。

国営事業の費用負担は国費や県費と農家負担でございました。その農家負担について協議をいたしました結果、両総施設の重要性に鑑み、関係する当時の19市町村、現在14市町村で負担することになったわけです。

本事業で整備された施設が地域の重要な資産として今後とも末永く引き継がれて行くことを心から望むところでございます。今後は、完成しました施設を有効に活用していくために、支線の整備を含めました関連施設の着手を推進して参る事になります。皆様にも引き続いてお力添えいただきますようよろしくお願い申し上げます。

最後にあたり、本事業の完成に長年携わって来られた多くの関係される方々に心から敬意と感謝を表しまして私からの挨拶とさせていただきます。



### 千葉県農林水産部 次長 山本 泰三 様

国営かんがい排水事業両総地区につきましては、今年度をもって完了ということで、10月28日に完工式を迎えられることに対しまして、心からお祝い申し上げます。

県といたしましても国営で造成し完成された施設のその先の支線管理につきまして順次更新整備を図って参りたいと考えておりました。平成21年度には茂原南地区、昨年度は南条支線、今年度は多古支線と順次、事業着工を図っているところです。今後は、西部幹線のいち早い事業着工が待たれるところですが、私共といたしましても順次、準備を進めているところでございます。

また、今後の農業の振興にあたりましては、農地流動化が不可欠と考えております。今後、営農集団や担い手の皆様に、農地集積を図る農地中間管理事業や、集積を図られた営農団地について、それらの維持管理活動は集落ぐるみで行い、その組織に支援をする制度を多面的機能支払制度と言います。その2つの制度を事業を車の両輪と例え、県といたしましても積極的に推進を図って参ろうと思っておりますので、今後とも更に皆様方のご理解ご協力を賜りたいと考えております。

## 総代会正副議長

総代会議長・副議長は次のとおり選任されました。

議長 土屋英男 (多古地区第17選挙区)  
副議長 古川達衛 (東金地区第20選挙区)

